



# ハートフルなんぶ



2021. 12月号 vol. 278

長野市立南部図書館

〒388-8006

長野市篠ノ井御幣川 1201 番地

TEL (026) 292-0143

FAX (026) 292-0559

<https://library.nagano-ngn.ed.jp/>

## 年末年始休館のお知らせ

令和3年12月28日(火)～令和4年1月4日(火)まで休館となります。

ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

本の返却は返却ポストをご利用下さい。

※ CD・DVD 付きの資料、大型絵本、長野図書館の AV 資料は返却ポストでは  
ご返却いただけませんのでご注意ください。



## Essay

### としく 「年暮る」

寄稿：とど

12月 は誕生月で一番好きな月でもある。サンタクロースは来ないがクリスマスの飾りつけを眺めると自然に気分が上がってくる。そして暮れが押し迫ると実家での餅つき。去年は家族が帰省できなかったから、今年は少人数でも集まって、ぺったんぺったんという音を響かせたいものだ。臼と杵でついたお餅は弾力のある逸品となる。

一方で師走、この語感が心を落ち着かなくさせる。シハス、シワスという発音さえもソワソワ、ワサワサ、セカセカと結びつき、年末のせわしなさを呼び寄せる呪文のようだ。やろうやろうとほったらかした苦手な掃除、換気扇も障子や窓も、本当は暖かい季節に始末するのが賢いとわかっているのに先延ばし、大体は大晦日ぎりぎりにやっつけるのが習慣。当日は家族に対して必ずけんか腰になるのも良くない習慣だ。

師走の情景で思い浮かぶのは、東山魁夷の「年暮る」という青い絵。昭和30年代、親交の深かった川端康成に「京都を描くのなら、いまのうちですよ」と促されたという。呼応して昭和43年に「京洛四季」連作を発表した。これはその最後を飾る作品になる。

年の瀬の夜半、大晦日なら除夜の鐘の鳴り出した時分かもしれない。京都の町屋の屋根の連なりをおおいつくすように雪が降り続く。その光景は底冷えとともに不思議とぬくもりも感じさせる。羽毛のような雪からは、しんしん、という音無き音さえ聞こえてきそうな…。そしてそれぞれの屋根の下でそれぞれの年を越し、新たな年を迎えていく。

…今年こそ早めに諸々片づけて、画集でも眺めながらこんな詩をロズさんで平穏なお年取りを過ごせたらいいのだけれど…。

「雪」 三好達治

太郎を眠らせ、太郎の屋根に雪ふりつむ  
次郎を眠らせ、次郎の屋根に雪ふりつむ

参考：

東山魁夷小画集 京洛四季 新潮文庫

齋藤孝 声に出して読みたい日本語 CDブック 草思社



## 今月の 新刊案内

- 『追憶の鳥』阿部 智里／著 文藝春秋 <Fア>  
 『炎上フェニックス』石田 衣良／著 文藝春秋 <Fイ>  
 『教場X』長岡 弘樹／著 小学館 <Fナ>  
 『透明な螺旋』東野 圭吾／著 文藝春秋 <Fヒ>  
 『オーラの発表会』綿矢 りさ／著 集英社 <Fワ>  
 『後宮の鳥 6』白川 紺子／著 集英社 <BFシ6>  
 『月に3冊、読んでみる?』酒井 順子／著 東京新聞 <019サ>  
 『不安と折り合いをつけてうまいこと老いる生き方』中村 恒子／著 すばる舎 <159ナ>  
 『戦争とバスタオル』安田 浩一／文 亜紀書房 <291.09ヤ>  
 『繊細な人鈍感な人』五百田 達成／著 PHP 研究所 <361.4イ>  
 『文系のためのめっちゃやさしい天気』渡部 雅浩／監修 ニュートンプレス <451フ>  
 『大人の片づけ』一田 憲子／著 マガジンハウス <597イ>  
 『秘密のバルコニーガーデン』松本 路子／文・写真 KADOKAWA <627マ>  
 『スタジオジブリの想像力』三浦 雅士／著 講談社 <778ミ>  
 『日本語をもっとつかまえろ!』飯間 浩明／文 毎日新聞出版 <810イ>  
 『シルバー川柳 11』全国有料老人ホーム協会／編 ポプラ社 <911.46シ11>  
 『安曇野にゃんこほのぼの日記』岡田 裕／著 日本機関紙出版センター <N640オ>  
 『恐竜学者は止まらない!』田中 康平／著 創元社 <Y457タ>



## 12月のテーマ 「師走」

- 『クリスマス詩集』森田 進／編 日本キリスト教団出版局 <911.56ク>  
 『変わったタイプ』トム・ハンクス／著 新潮社 <933ハ>  
 『イェンセン家のクリスマス』イェンス・イェンセン／著 文藝春秋 <386イ>  
 『12月25日の怪物』高橋 大輔／著 草思社 <386タ>  
 『ターシャ・テューダーのクリスマス』ハリー・デイヴィス／著 文藝春秋 <386テ>  
 『クリスマスの歴史』ジュディス・フランダーズ／著 原書房 <386フ>  
 『手づくりクリスマスBOOK』パッチワーク通信社 <594テ>  
 『世界のお正月百科事典』ウィリアム・D.クランプ／著 柘風舎 <386ク>  
 『後悔しない「年賀状終活」のすすめ』澤岡 詩野／著 カナリアコミュニケーションズ <367サ>  
 『はじめてでもおいしく作れるフライパン煮物』河野 雅子／著 家の光協会 <596コ>  
 『カビ・ホコリ・菌を撃退!家の「正しい」掃除ワザ』松本 忠男／監修 宝島社 <597カ>  
 『コックローさんのすっきりおそうじ』読書工房／編著 国土社 <597コ>  
 『二十四節気を楽しむ遊び文字アイデア集』森 千景／著 日貿出版社 <728モ>  
 『彫って楽しむ年賀状』小原 俊樹／著 木耳社 <731オ>  
 『季節に寄り添う韓国茶』コウ 静子／著 グラフィック社 <596コ>  
 『バターを使わないまいにちグラタン』藤井 恵／著 日本文芸社 <596フ>



## 南部図書館 開館カレンダー

開館時間：午前10時～午後6時

■は休館日です

### 2021年12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

### 2022年1月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

※2021年12月22日(水)は図書整理日のため、12月28日(火)～2022年1月4日(火)は年末年始のため休館となります。